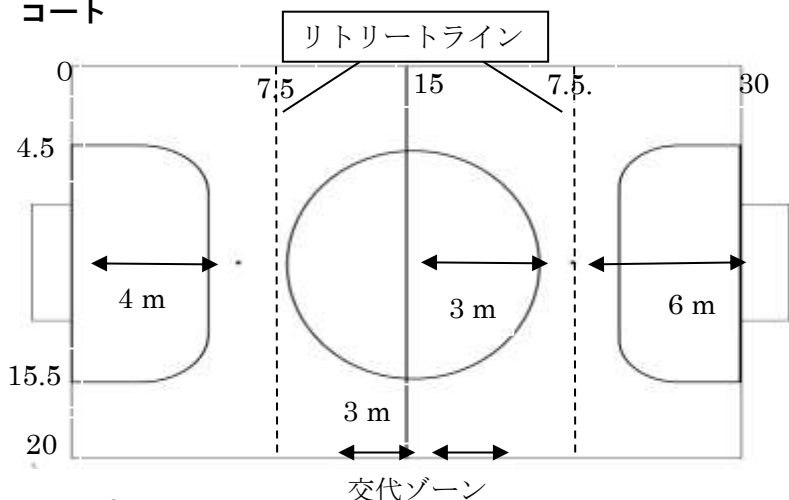


八千代ミニサッカー大会 大会規則

1. コート



2. ルール概要

(1) ゴールキーパーに関するもの

◎ ボールスローの採用

⇒ 攻撃側のプレーヤーによって、ボールがゴールラインから出されたときは、守備側ゴールキーパーのボールスローで再開する。インプレー中キャッチした場合もボールスローとする。

◎ ボールスローが直接ハーフウェイ・ラインを超えた場合は、相手側にハーフウェイ・ライン上の任意の地点から間接フリーキックが与えられる。

◎ 味方からバックパスを足で処理することは可能。ゴールエリア外でのプレーも可能。(勿論、手で処理することは不可。)

◎ リトリートラインの導入

相手側ゴールキーパーからのボールスローの際、守備側のプレーヤーは攻撃側のプレーヤーがボールに触れるまでリトリートラインを越えてはいけない。

* リトリートラインとは、「選手は相手ゴールキーパーがボールを保持したとき、リトリートラインの後ろまで戻らなければいけない」というルールのこと

(2) キックインに関するもの

◎ ボールがタッチラインを超えたときは、その地点のライン上から相手側のキックインで再開する。

◎ キックインからのボールが直接ゴールに入った場合は相手キーパーのボールスローで再開する。

(3) コーナーキックに関するもの

◎ コーナーキックはゴールラインとタッチラインの交点内側にボールを置いて行う。

◎ コーナーキックから直接得点できる。

(4) 交代に関するもの

◎ 交代はインプレー中でも自由に行うことができる。ただし、交代する場合は、主審に告げた上で行う。なお、ゴールキーパーの交代はアウトオブプレーの時でなければならない。

◎ 交代する際、交代ゾーンにて行わなければならない。またその際、競技中のプレーヤーが完全にタッチラインから出なければ、交代するプレーヤーは入ることができない。

◎ 交代の人数、回数は制限しない。

(5) その他

◎ オフサイドルールは採用しない。

◎ 反則は、原則11人制のルールを採用する。正当なショルダーチャージは反則としない。スライディングタックルは原則として禁止。

◎ フリーキック、コーナーキック、ペナルティキック、キックイン等の時には、相手側プレーヤーはその場所から7メートル以上離れなければならない。

◎ ペナルティエリア内において守備側のプレーヤーが間接フリーキックに該当する反則を行った場合は、反則した場所に最も近いペナルティエリアのライン上からフリーキックを行う。その際、守備側のプレーヤーは5メートル以上離れなければならない。

◎ 審判は主審の一人で行う。

◎ 4秒ルールは採用しない。

◎ キックオフのボールが直接相手側ゴールに入った場合は、ゴールを認めない。

そのときはキーパーズローで再開する。